二〇一七年度　愛知県公立高校入試問題（A）

四五分
二二点

一

次の文章を読んで、あとの㈠から㈤までの問いに答えなさい。

1　日本人はいたるところで「よろしく」を連発する。年賀状にはきまって、「本年もどうぞよろしく」と書き、知人に何か依頼するときにも、「よろしく」といって頼む。慣用語、あるいは挨拶語だといって聞き流せばそれまでだが、そういわれて誠実に相手の依頼にこたえようとすると、「よろしく」の意味がわからなくなる。

2　「よろしく」というのは、「よろしく心を配ってほしい」ということであろう。頼みごとをするほうは、具体的な要求を明示して頼むと相手が迷惑するだろうから、迷惑がかからないように、相手のできうる範囲内で力を貸してほしいと、その範囲を相手に任せているわけである。したがって、「よろしく」という言葉の意味は、「お志だけで結構です」ということにちがいない。しかし、そういわれると、頼まれた相手は①具体的な要求を出されるよりも、もっと迷惑するのである。たとえば、寄付を乞われた場合、一口いくらとあれば、一口なり二口なり、あるいはその金額によっては断るなりできるが、「お志」といわれると、どの程度協力すべきか思い悩まねばならない。相手に判断を強い、思い悩ませるのは、考えてみれば、ずいぶん失礼な話ではないか。

3　サハラ砂漠のジャネットというオアシスで何日か過ごしたときのことだ。そこに住むトゥアレグ人からトゥアレグ語の単語をいくつか教えてもらった。といっても、それは私たちが連れて行くロバの名前だったのであるが。一頭のロバの名は「コーエル」といった。「どういう意味なのかね」と聞くと、「黒いが本当の黒でない」という意味だということだった。もう一頭のロバは「アディグナス」という名だったが、それは「口のまわりが黒い」という意味であり、さらにもう一頭の「ワンティグアト」というのは、「いつも跳びはねている」という意味だというのである。それを聞いて私はトゥアレグ語を習うのをあきらめた。こんな簡単な単語でこんな複雑な意味をあらわす言葉というのは、そのコミュニティーにとけこまないかぎり、外部の者にはとうてい理解できない独特の取りきめ、すなわち言語外のルールを持っているにちがいないからである。このことは逆にいうと、その社会（コミュニティー）が同質であればあるほど、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

表現は簡単ですむということである。家庭内の会話ではくどくどという必要はない。言語の大半が省略されても意志はちゃんと通じる。なぜなら、判断や意志や感情を相手に伝える場合、伝達者と受け手とが同質の情報環境に置かれているなら、言葉を厳密に使用する必要はなく、きわめて簡単な表現でも同質の価値観や等質の感情が言葉を補足してくれるからである。「よろしく」というのはそうした同質環境における言葉のいい例であろう。

4 「よろしく」とは、前記のように、いっさいの判断を相手にゆだねた依頼の言葉である。だが、もしもその相手が自分とまったく異なる情報環境の住人――習慣や、ものの考え方を異にする世界の人間であったならば、こんなふうに相手の判断に任せるわけにゆくまい。どのような処置をされるか見当がつかないからである。だから「よろしく」は外国人に対しては使えない。いや、おなじ日本人同士であっても、相手が異国にいるような場合には、「神通力」を失ってしまうのだ。げんに私は「よろしく」と頼まれて大いにとまどい、思い悩んだ経験がある。

5 パリに半年ほど滞在していたときのことだ。「ぼくの知人の某氏がパリへ行く。よろしく」という手紙を友人から受けとったのである。私の友人は気軽にそう書いてよこしたのだが、いったい「よろしく」とは何を要求しているのか、こちらにはさっぱり見当がつかない。空港まで出迎えてほしい、というのか、ホテルをとっておいてもらいたい、というのか、パリを案内してやってくれ、というのか、一度ぐらい食事を共にしてもらえまいか、というのか。私はさんざん思い悩んだすえ、具体的な依頼がないかぎり、何もしないことにした。そのような判断までこちらにさせるというのは――冗談ではない、あまりにも甘えすぎであり、［②］、と思ったからだ。

6 「よろしく」という言葉は一見、相手の意志や判断を尊重する言い方のように思える。しかし、よく考えてみると、それは責任を相手に転嫁（てんか）することによって、自分の責任をのがれようとする呪文ではないか。どのようなことであれ、判断をくだすということは、それなりに努力を必要とする。あれこれ考えることは、たいへん面倒なことなのである。その面倒な思案を放棄して相手に押しつけることは、ときには無礼にもなりかねない。「よろしく」とは、別言すれば、「よきにはからえ」ということである。「よきにはからえ」などというのは殿様が家来に対して命じる言葉であり、横柄（おうへい）な要求以外の何ものでもないのである。

（森本哲郎（もりもとてつろう）「日本語　表と裏」より）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（注）○ 1～6は段落符号である。
○ 志＝相手のためを思う親切な気持ち。
○ コミュニティー＝地域社会。
○ 神通力＝何事も自由自在に行うことのできる不思議な力。
○ 某＝名前を伏せる場合に使うことば。ここでは、だれそれ。
○ 転嫁（てんか）＝なすりつけること。
○ 横柄（おうへい）な＝偉そうにして人を見くだすさま。

(一) ①具体的な要求を出されるよりも、もっと迷惑するとあるが、その理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 相手にどの程度力を貸せばよいか判断するのが難しく、あれこれと思い悩むことになるから。
イ 相手の事情に心を配らなければならない上に、相手が納得するまで力を貸すことになるから。
ウ 相手から判断を強いられたことに気付かないふりをして、依頼にこたえなければならないから。
エ 相手の要求が常識の範囲を超えるものでも、日頃親しい仲では聞き流すことができないから。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(二) 第三段落が本文中で果たしている役割についての説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第二段落までの内容を補うために、トゥアレグ語が簡単な単語で複雑な意味を伝えることができることを述べ、日本語もそうなるべきであると主張する第四段落へとつなげている。

イ 第二段落までの内容を補うために、トゥアレグ語を例に簡単な表現では意志がうまく伝わらないことを説明し、外国人との意志の疎通に必要なことについて述べた第四段落へとつなげている。

ウ 第二段落までとは視点を変え、外国語には簡単な単語で複雑な意味を伝えられる例があることを示し、日本語がそれとは対照的であることを具体例を用いて述べた第四段落へとつなげている。

エ 第二段落までとは視点を変え、外国語の例を引いて簡単な表現でも意志の疎通が可能となる条件を示し、その条件を満たさない場合について述べた第四段落へとつなげている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

㈢ 筆者は第三段落で、簡単な表現でも相手に複雑な意味が伝わる場合について述べている。それを要約して、七十字以上八十字以下で書きなさい。ただし、「情報環境」、「価値観」という二つのことばを使って、「簡単な表現でも複雑な意味が伝わるのは、……」という書き出しで書き、「……場合である。」で結ぶこと。二つのことばはどのような順序で使ってもよろしい。

（注意）・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。
・文は、一文でも、二文以上でもよい。

簡単な表現でも複雑な意味が伝わるのは、

㈣ ② にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 虫が好かない　イ 虫がよすぎる　ウ 虫が知らせる　エ 虫がおさまる

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(五) この文章の内容として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 「よろしく」は、自分が責任をとらないだけでなく、判断をくだす努力を相手に求めない気楽な面もあり、不誠実な言葉といえる。

イ 「よろしく」は、相手の意志や判断を尊重しながらも、自分の意志をはっきり伝えようとする面があり、誠実な言葉といえる。

ウ 「よろしく」は、相手の意志を尊重するように見えて、判断をくだす努力を相手に求めている面があり、失礼な言葉といえる。

エ 「よろしく」は、殿様が家来に対して命じる言葉に語源をもつが、相手に対する信頼を表現している面もあり、複雑な言葉といえる。

二

次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 藤原氏が栄華を極めたのは平安時代である。

② 高校生らしいセイケツな身だしなみを心がけたい。

(二) 次の文中の〔 ③ 〕にあてはまる最も適当なことばを、漢字二字で書きなさい。

これからの社会をたくましく生きていくために、臨機〔 ③ 〕に行動できる力を身に付けたい。

めた

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　次の文章を読んで、あとの㈠から㈥までの問いに答えなさい。

1　時間は不可逆です。私たちにとって時間の経過は、取り返しがつかない。あの地点に戻ってやり直したいとか、あのとき別の道をたどればよかった、と思っても、その願いは決して実現しません。取り返しのつかなさ、かけがえのない一回きりの出来事、それが時間です。そしてこの性質こそが、香りと同じなのです。

2　香りの拡散は時の流れと同質です。私たちは同じ香りを決して再び嗅ぐことはできません。拡散してゆく香りは、二度とつかまえることができない。香りは移ろい、流れてゆきます。そして私たち自身も生きている限り動き、流れつづけています。じっとしているようでも、一瞬前の自分と今の自分は違っています。鼻に流れ込む香りも刻々と変化しているし、それを吸い込む私たちも刻々と変化しているのです。香りを嗅ぐ、というのは、そのうごめく流れの一瞬の合流にすぎないのです。二度とない、一回きりの邂逅（かいこう）です。香りは、一回きりの［①］体験と結びついている。だから、ある香りが漂ってくると、記憶の底から特定のイメージがよみがえるのです。

3　ところで実は、すべての感覚が、一期一会（いちごいちえ）です。しかし現代では、視覚や聴覚の体験は再現可能な技術によって支えられているために、かけがえのない瞬間を機械で外部保存しておいて、後で繰り返し疑似体験することができます。文字、スケッチ、写真、録画、楽譜、録音といった保存技術を、そのために人類は発明してきたのです。しかし、嗅覚体験を保存する方法は、今のところまだ自前の身体による記憶しかありません。香りを自在に保管する術（すべ）が、残り香くらいしかまだないのです。香りの体験は無意識の深い記憶の層に刻み込まれてゆきます。だから、忘れないし、忘れられない。その在り方は、人がこの世で生きて様々なことを体験することと同じです。生きることの、生きて出会うことの不思議さと、香りの不思議さは、ぴったりと重なり合うのです。

4　ところで、香りは信号化できないのでテレビ画面では伝わりませんが、しかし意図的に香りの体験をもたらすことができる仕掛けが、私たちの身体には搭載されています。しばしば体験したことのある香り、強烈な記憶と結びついている香りならば、その体験の記憶を呼び覚ますように意図された映像を見せられれば、その香りは私たちの内面によみがえるのです。〔Ａ〕、おいしそうなカレーの画面を見れば、記憶の中から過去に体験したカレーの匂いが呼び覚まされることがあります。これはＣＭに利用されている単純な手法で、ごく当たり前のことです。すっぱい梅干しの味を想像しただけで唾が出るのと同じことで、実際には香りが漂っていなくても、具体的

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

なイメージが浮かぶだけで匂いの記憶もよみがえるのです。記憶のほうから漂ってくる香りを、今ここで内部の体験として味わえるのならば、幸せな瞬間に深く呼吸しておけば、再びその香りに出会えたときに幸せな気持ちになれるということになります。

[5] 私は、よくひとり旅に出ます。もうずいぶんあちこちを見て回りましたが、②ほとんど写真は撮りません。観光地では絵葉書を自分用に買って済ませています。ホテルの窓からの眺めがすばらしいときには、下手ながら、ゆっくりとスケッチをします。あるいは、夜明けの海辺を散歩しながら、広い空と海から吹いてくる風を身体に通すようにして深呼吸をするのです。写真を撮るよりも、スケッチするようにゆっくり見て、そして目を閉じて耳を澄ませ、風の香りを嗅ぐほうが、その場に身を置いた体験を身体に刻み込むことになると思うのです。将来、老いて知覚反応が乏しくなっても、私の記憶の奥底にはみずみずしい体験が豊かに存在していて、それを存分に楽しむことができるのではないかと思っています。（中略）

[6] 事物はみな、それぞれに固有に流れる時間を生きています。〔Ｂ〕無機物であっても、風化に身をさらしています。この世に在るものは何ひとつ同じままでとどまってはいられない。刻々と変化せざるを得ない。そのように宇宙で移ろいゆく物同士が、この世に在って生きている者同士が、ほんの一瞬だけ接触する。そこで互いの香りが混ざり合って、一度きりの香りが放たれる。固有の時間を生きて流れてゆく存在が、互いに出会う場に香りが漂う。そしてそれを互いに、意識せずとも決して忘れずに別れてゆく。

[7] 香りや時間と同じく、命や宇宙を旅する存在についての古い記憶のように、形のないまま今もある、目に見えない、触れることのできない事象には、何かしら神秘性を感じます。はっきり確認できない何か疑わしいことを、私たちは「臭い」とか「何か匂うぞ」と言います。他のどの感覚で感じ取ったともいえないような曖昧な事象に意識を向けるとき、嗅覚の比喩を使わざるを得ないのです。あるいは、自分でも、なぜそう感じているのか理解できないような感情、言葉にできないような、図式化もできないような感触を「香り高い」とか「匂いがある」ということがあります。直感で感じ取ったものごとの本質、何ものにもたとえがたいような雰囲気は、そう表現するしかない。私たちは、心の奥底で生じた微妙な情感を、香りとして嗅覚の言葉にのせて表現するのです。

[8] ひるがえって文明化や近代化が無臭化を目指してきたことを思うとき、確かに私たちは何かを明らかにすること、誰にでも応用可能な一般的な思考や表現を獲得してきたことになります。〔Ｃ〕そのように一般化しようとして切り落としてきたことも多々あります。そのひとつが、曖昧で一回きりの、茫漠（ぼうばく）とした香りの感覚です。匂いが消されていくことは、生きること、かけがえのない出会いを互い

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製·転載を禁止します。

に刻み込む体験が欠落していってしまうことになります。嫌な臭さを許さない生活、人工的な良い匂いだけに包まれた生活は、生き物としての在り方、宇宙に奇跡的に存在するという意識を希薄化する要因になっているのかもしれないのです。

（加藤博子（かとうひろこ）「五感の哲学　人生を豊かに生き切るために」より）

（注）○ 1～8は段落符号である。
○ 不可逆＝元に戻らないこと。
○ 邂逅（かいこう）＝めぐりあい。
○ 一期一会（いちごいちえ）＝一生に一度だけ出会うこと。
○ 信号化＝情報を相手に伝えやすい形に変えること。
○ 茫漠（ぼうばく）＝ぼんやりして、つかみどころがないさま。

㈠ ① にあてはまる最も適当なことばを、第三段落からそのまま抜き出して、七字で書きなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(二)〔A〕から〔C〕までのそれぞれにあてはまる最も適当なことばを、次のアからクまでの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　すっかり　イ　とうてい　ウ　たとえ　エ　むしろ
オ　たとえば　カ　なぜなら　キ　しかし　ク　せめて

A ☐　B ☐　C ☐

(三)②ほとんど写真は撮りませんとあるが、筆者が旅先で写真を撮らない理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　視覚以外の感覚も使って旅先での体験を身体に刻み込むことで、後にそれをよみがえらせ、楽しむことができると思うから。
イ　今この瞬間をスケッチとして残すことで、将来それを取り出して眺め、楽しかった思い出に浸ることができると思うから。
ウ　記憶に刻み込まれた風景を呼び覚まし、眼前に広がる風景と重ねることで、時の流れの神秘性を感じることができると思うから。
エ　スケッチをするように時間をかけ、旅先で得た感動を映像として記憶することで、他者と分かち合うことができると思うから。

☐

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈣ 次の文は、本文中のどの段落について述べたものか。段落符号で答えなさい。
時間と香りが共通した性質をもつことを指摘した前段落をうけて、刻々と移ろう存在である私たちと香りのめぐりあいは一回きりであることを述べるとともに、香りは視覚や聴覚の体験と違って外部保存できないことを述べた次段落へつなげている。

㈤ 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれた筆者の考えに最も近いものを選んで、そのかな符号を書きなさい。
ア 香りは刻々と変化するものであり、時間がたったときに元の香りとは異なるものになっている心配がある。
イ 視覚や聴覚の体験と同じように、嗅覚の体験も技術の進歩によって繰り返し疑似体験することが可能となる。
ウ 嗅覚の体験は曖昧でつかみどころがなく、身体の奥底に刻み込んで記憶としてよみがえらせるのは困難である。
エ 生活や表現から匂いや香りの感覚が消されていくことは、生を大切にする意識を薄れさせるおそれがある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

㈥　次の文章は、ある生徒が本文を読んで感想をまとめたものであるが、文の順序が入れ替えてある。筋道が通る文章とするためにアからオまでを並べ替えるとき、二番目と四番目にくるものをそれぞれ選び、そのかな符号を書きなさい。

ア　このように、「くさい」、「におう」のどちらにも、五感のうちのどの感覚でとらえたかがはっきりしない感覚を表す意味があり、筆者はこのことを踏まえて、他のどの感覚で感じ取ったともいえないような場合には嗅覚の比喩を使わざるを得ない、と述べたのではないかと気付きました。

イ　こうした感性が、私たちの社会が無臭化を目指す中で消えていくとしたら、少し寂しい気がします。

ウ　私は、筆者が第七段落で、「臭い」や「匂う」という言葉の使われ方について述べていたことから、これらの言葉に興味をもち、国語辞典で調べてみました。

エ　そこで、「いかにもそれらしい感じがする」という意味の「くさい」を用いた言葉を思い浮かべてみると、「照れくさい」や「古くさい」など、いくつもの言葉が思い浮かびました。日本人は、このように嗅覚の比喩を使い、微妙な情感を表現することによって、豊かな感性を受け継いできたのかもしれません。

オ　「くさい」には、「嫌なにおいがする」という意味以外に「疑わしい・怪しい」、「わざとらしい」という意味があり、さらに「水くさい」など、体言に付いて「いかにもそれらしい感じがする」という意味がありました。また、「におう」には、嗅覚で感じる意味だけでなく、「美しく照り映える」や「何となく気配が察せられる」という意味がありました。

二番目 ［　］　四番目 ［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四

次の古文を読んで、あとの㈠から㈣までの問いに答えなさい。（本文の----の左側は現代語訳です。）

人の心、もとより、善悪なし。善悪は、縁に随（したが）つて起（おこ）る。たとへば、人、発心（ほっしん）して〔仏道修行をする心を起こして〕、山林に入る時は、林家は善し、人間は悪しと思（あ）へり。また、退心して〔修行する心が鈍って〕、山林を出（い）づる時は、山林は悪しと云（い）ふ。①これ、即（すなは）ち〔いいかえれば〕、決定（けつぢやう）〔必ず〕、心に定相（ぢやうさう）〔一定不変の状態〕無き故に、縁に随つて、②ともかくもなるなり。故に、善縁に逢（あ）へば心善くなり、悪縁に近づけば心悪しくなるなり。我が心、もとより悪しと思ふことなかれ〔思ってはならない〕。ただ、〔③〕に随ふべきなり。

（「正法眼蔵随聞記（しょうぼうげんぞうずいもんき）」より）

（注）○ 縁＝ここでは、周囲の状況のこと。
○ 林家＝山林の中の住まい。
○ 人間＝ここでは、世間一般の人が住むところ。

㈠ ①これのさす内容として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 修行することによってその人の人格が大きく変わってしまうこと
イ 心の状態によって修行する場所に対する考え方が変化すること
ウ 世間一般の生活をしながら山林での修行生活にあこがれること
エ 日常から解放される山林は修行の場にふさわしくないと思うこと

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(二) ②ともかくもなるなりの現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　何とかしたくなるものである　　イ　こうしてほしくなるものである

ウ　どうでもよくなるものである　　エ　どのようにもなるものである

(三) 〔③〕にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　善悪　　イ　発心　　ウ　善縁　　エ　悪縁

(四) 次のアからオまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　人の心はよい状況に身を置くことで自然によくなるものである。

イ　人が生まれつきもっている悪い心が仏道修行の妨げとなる。

ウ　よい心を保つには周囲の状況を気にせず生活する必要がある。

エ　仏道修行の成果は修行後の心の在り方で分かるものである。

オ　日頃の自分の心がけ次第で社会全体が豊かになるものである。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二〇一七年度

愛知県公立高校入試問題（A）

一

解答

㈠ア　㈡エ　㈢（簡単な表現でも複雑な意味が伝わるのは、）伝達者と受け手とが同質の情報環境に置かれていることで、同質の価値観や等質の感情が言葉を補足してくれる場合である。（75字）（同意可）　㈣イ　㈤ウ

解説

㈠「たとえば」と寄付を乞われた場合をあげ、「『お志』といわれると、どの程度協力すべきか思い悩まねばならない」とあることから考える。

㈡第二段落は「よろしく」という言葉の迷惑な点について述べている。第三段落からはトゥアレグ語を例に、「伝達者と受け手とが同質の情報環境に置かれている」なら「言語の大半が省略されても意志はちゃんと通じる」ことを説明し、「よろしく」というのも同質環境における言葉だと述べている。そのうえで、第四段落で「だが、もしもその相手が…ものの考え方を異にする世界の人間であったならば」という場合を考察している。

㈢「簡単な表現でも相手に複雑な意味が伝わる」、つまり「言語の大半が省略されても意志はちゃんと通じる」場合として、「伝達者と受け手とが同質の情報環境に置かれている」という条件をあげ、その理由として「きわめて簡単な表現でも同質の価値観…補足してくれるから」と述べていることをおさえてまとめる。

㈣「そのような判断までこちらにさせる」ことにずうずうしさを感じている。アは、何となく気に食わないという意味。イは、自分勝手だという意味。ウは、何となくそのような予感がするという意味。エは、腹立ちがおさまるという意味。

㈤「よろしく」とは「一見、相手の意志や判断を尊重する言い方」のように思えるが、「相手に判断を強い、思い悩ませる」言葉であり、「無礼」なものだと述べている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

二

解答

(一) ①きわ(めた)　②清潔　(二) 応変

解説

(二) その場に応じて適切な手段をとるという意味。

三

解答

(一) かけがえのない　(二) A、オ　B、ウ　C、キ　(三) ア　(四) 2　(五) エ　(六) (二番目) オ　(四番目) エ

解説

(一)「二度とない、一回きりの」と前にあるように、ほかに代わるもののない大切な、という意味のことばを探す。

(二) A、「その体験の記憶を呼び覚ますように意図された映像を見せられれば…よみがえる」ことを、「カレー」の例で示している。B、後の「…であっても」という条件を示す表現にかかる。C、前には「一般的な思考や表現を獲得してきた」ということを述べ、後には「一般化しようとして切り落としてきたことも多々あります」と反対の内容を述べている。

(三)「写真を撮るよりも…体験を身体に刻み込むことになる」「私の記憶の奥底…存分に楽しむことができる」とあることから考える。

(四) 香りは「二度とつかまえることができない」、「一回きりの邂逅」だということについて第二段落で述べ、「嗅覚体験を保存する方法は…身体による記憶しかありません」ということを、次の第三段落で述べていることをおさえる。

(五)「匂いが消されていくことは…刻み込む体験が欠落していってしまうことになります」と述べていることをおさえる。

(六)「私は…」という書き出しで、自分の視点を明らかにしているウから始まる。「国語辞典で調べてみました」とあり、オの「くさい」「におう」の意味の説明に続く。さらにアで「くさい」「におう」の意味と、本文の内容をふまえて気づいた「嗅覚の比喩」について述べ、エでは「嗅覚の比喩」に関する「いかにもそれらしい感じがする」という「くさい」の意味に着目して、日本人の嗅覚に関する「豊かな感性」を考察している。そして最後にイで、この「豊かな感性」を冒頭で「こうした感性」と受け、それが「消えていくとしたら、少し寂しい気がします」と自分の感想を述べている。文の並びは、ウオアエイとなる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

四

解答

㈠イ　㈡エ　㈢ウ　㈣ア

解説

㈠「発心して、山林に入る時」と「退心して、山林を出づる時」では、山林に対する考え方が変わっていることから考える。
㈡人の心は「定相」がないために、周囲の状態によって変わってしまうものだと述べている。
㈢「随ふべき」と続くので、随った方がよいものが入る。前に、「善縁に逢へば心善くなり」と述べていることに着目する。
㈣「善縁に逢へば心善くなり」と述べている。

口語訳

人の心にはもともと善悪はない。善悪は周囲の状況によって起こる。たとえば、人が仏道修行をする心を起こして、山林に入る時は、山林の中の住まいはいいもので、世間に住むのは善くないと思っている。また、修行する心が鈍って、山林を出る時には、山林は善くないと言う。これは、いいかえれば、必ず、心には一定不変の状態がないために、周囲の状況によってどのようにもなるものということなのだ。善い状況に逢えば心は善くなり、悪い状況に近づけば心は悪くなるものである。自分の心がもともと悪いと思ってはならない。ただ善い状況に随わなくてはならない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。